

V44c 天頂より5度ゾーンの1.4GHz試験観測

「赤峰 幸徳、竹内 央、藤居 文行、国吉 雅也、末満 大成、後藤 健太郎、水野 桂寿、鈴木 智也、水木 さおり、福岡 浩二（早大理工）、田中 尚樹、大師堂 経明（早大教育）」

自由学園那須農場の早稲田大学那須パルサー観測所では、周波数 1.4GHz で天頂方向及び天頂より5度の範囲でのテスト観測が行われている。このテスト観測で銀画面の受信に成功している。ここで使われた観測のシステムは、直径 20m 球面鏡、副鏡、ホーンアンテナ、低雑音増幅器 ($T = 40K$)、BPF、サーベイメータ（検波器）、A/D である。1月7日の観測では、常温ダミー（300K）のキャリブレーションにより、銀画面の白鳥座領域は 20K 程度に受かっている。3:00 ~ 13:00 の 10 時間にわたり極めて安定した受信ができ、インターフェアーは全くなかった。検出限界の評価を進めているが、ドリフトが極めて小さいので、スイッチングなしで 0.1 ~ 0.3K 以下となる見込みである。